

平成 23 年度

国分自主防災会総合防災訓練

実施要綱等



平成 23 年 8 月 28 日 (日)

《国分自治会自主防災会》

協力 滝沢村 盛岡西消防署滝沢分署

国分自主防災会長挨拶

東日本大震の地域対応

過去には、多くの大震災が何百年の単位で繰り返されてきているようですが、平成23年3月11日午後2時46分三陸沖を震源とする大地震がおきました。沿岸では大津波が発生し、多くの被害をもたらしました。多くの方々が犠牲となり、千年に一度の大地震といわれています。

国分自治会では、震災発生後自主防災会を立ち上げ、地域内の被害状況の確認や地域住民の安全の確認し、また行政機関との連絡・報告を取り、防災活動に努めました。

当日は、3月と言うこともありジャンパーが必要な寒さでした。また日中と言うこともあり、地域内は各家が庭留守がちでしたが人的被害、家屋の被害などを住民が手分けをして確認し、特に目立った被害も有りませんでした。電気が数日間停電になり、各家庭では、暖房・食事・湯わかし・ができなくなり、国分集会所を一次避難所として開設し避難者を受け入れました。各自主防災会の役員、班長さん方には、各自の役割に従い活動して頂きました。

地域住民の皆さん、献身的に活動して頂いた消防署、消防団員の方々、行政の皆さんの協力を頂いて、国分自主防災会の日頃の防災訓練の成果が表れたと思います。

平成 23 年度国分自治会自主防災会総合防災訓練実施要綱

1. 目的

- 国分自主防災会防災計画に基づき、地震等の自然災害や火災の発生に備えて、地域住民が連帯して防災訓練の実施をいたします。

国分自主防災会では、災害時における国分自治会内の住民を安全安心と住民間の絆を図る為に、災害対策本部を設置し、広報・伝達・救護・消火・誘導・避難・給食給水・弱者対策等を迅速かつ的確に行えるように総合防災訓練の実施をします。

- 特に今年度は国分自治会の災害避難場所は、ふるさと交流館になっており、ふるさと交流館までの避難経路の確認滝沢ふるさと交流館施設内の確認、水道水の地下タンクの確認などを行い、また地下タンクを利用した消防団員の放水訓練を実施いたします。

2. 実施日時

平成 23 年 8 月 28 日（日） 午前 8 時 00 分

3. 実施場所

国分地域内の各公園・滝沢ふるさと交流館

4. 訓練対象者

- 自治会内の全住民

平成 23 年度 国分自主防災会総合防災訓練計画

1. 目的

- (1) 地域住民に対して、災害発生時の行動、避難所までの要領を体得して頂く。
- (2) 国分自主防災会の各役員に対して、災害発生時の対応能力の向上を図る。
- (3) 訓練において問題を把握して、事後の防災計画に反映させる。

2. 訓練開始の態勢 (7時55分) の状態

- (1) 机や椅子が設置され、国分中央公園に「国分災害対策本部」が設置され
会長以下本部員・各部の部長及び部員が集合している。
- (2) 現地対策本部員は各公園に集合している。
- (3) 怪我人の搬送訓練・心配蘇生訓練・避難誘導訓練・給水訓練・以上の訓練の資機材が用意され、各訓練の用意が完了している。
- (4) いつでも地域内の住民に対して、(訓練) 避難放送を出来る状態に有り
役場(防災防犯課)盛岡西消防署滝沢分署員、各部所に配置されている。

3. 訓練実施計画

時間	項目	行動の概要	対応者	資機材
7:15	災害対策本部の設置、訓練の準備	<ol style="list-style-type: none"> 1. 役員等の訓練説明・最終確認担当ごとに準備 2. 防災訓練等の実施の巡回広報を行う 	本部員各部長 広報情報部	ハンドマイク、広報車輛
8:00	実施宣言 災害情報の伝達	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現地対策部長は避難誘導部と各公園で避難訓練の者の受け入れ確認の準備をする。 2. 訓練実施の宣言を行う。 3. 防災放送塔で災害情報、避難場所を放送する。 	会長 広報情報部 区長	無線放送塔ハン ドマイク のぼり旗
8:20	避難誘導訓練	<ol style="list-style-type: none"> 1. 班長は班内の住民の安否確認を現地対策部長に報告 2. 現地対策部長は、伝達係、避難誘導部と協議し、災害対策本部に通信連絡をする。 3. 現地対策部長は災害対策本部の指示で第二避難所(国分中央公園)に避難誘導部、伝達係と共に、地域住民を避難誘導する。 	現地対策部長	のぼり旗 トランシーバー

8:20	第二避難所到着 救護訓練の実施	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第二避難所到着ご地域住民の人数・状況を本部に報告。 2. 本部に報告後、心肺蘇生訓練の実施・ケガ人の応急処置の講習を受け習得する。 	避難誘導部 救出救護部	滝沢分署 各種指導
8:50	滝沢村指定避難所避難所ふるさと交流館まで避難訓練	<ol style="list-style-type: none"> 1. 滝沢村指定避難所まで徒歩で避難訓練 2. ふるさと交流館まで三ルート考えられる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 自治会～耳取橋～交流館（25分） ② 自治会～国分橋～交流館（25分） ③ 自治会～牧野林橋～交流館（35分） 	避難誘導部 現地対策本部 災害対策本部	のぼり旗
9:30	交流館災害時使用の地下タンク避難所の見学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時、水道水の断水時使用地下タンクの見学 2. 滝沢村消防団第五分団放水訓練 3. ふるさと交流館内の見学 	滝沢村水課 消防団 交流館職員	分署長 村防災防犯課 村水道整備課 ふるさと交流館
10:00	現地解散	終了次第現地解散し役場バスで国分自治会到着次第、各自解散	災害対策本部	村財務課

国分自主防災会総合防災訓練シナリオ

「訓練想定」 8月28日午前6時46分ごろ、三陸沖を震源とする巨大地震が発生し滝沢村では、震度6強の揺れを観測しました。国分自治会内の家屋の多くに被害がでている模様です。まだかなり強い余震が続き、住民は家に入る事が出来ない状態です。

時 間	項 目	放送（発言）内容	行 動
7:15	災害対策本部の設置	1. 当日の天気によりテントを検討、テーブル2か所椅子を用意する。 2. ハンドマイク、のぼり旗、各区用意する。 3. 各訓練用品を準備する、	訓練準備
7:30	訓練概要の説明	1. 本日の訓練の概要について説明します。 2. 本日の訓練の狙いは、災害発生後の行政等が組織的な行動を行うまでの間、地域の住民が協力し合って被害を軽減しようとする物です。本日は6:45分に大地震に見舞われた、との想定で訓練をします。会長は「災害対策本部」を国分中央公園に支持し、8時前に完了していると想定します。 3. 広報情報部は、村広報車を借用します。	訓練説明
7:30	訓練事前巡回広報	1. 広報情報部は、村広報車で国分自治会内を事前広報活動に入ります。 2. おはようございます、国分自主防災会です、間もなく、午前8:00時より国分自主防災会、避難訓練を、行います、防災放送塔より、避難指示の放送が鳴りましたら、各区の公園に避難してください。多くの方の参加と協力をお願いします。（繰り返す）	広報情報部員の広報活動
8:00	本部から避難指示	1. <u>訓練です・訓練です・先程国分地域に、非常に強い地震を感じました。強い余震の揺れを心配されます、国分地域の皆さんは、直ちに各公園に避難してください。</u> — 線を（繰り返す）	防災無線による避難指示
8:00	現地対策本部の動き	1. 現地対策部長は、伝達係・避難誘導部員の協力を頂き、避難放送終了後、現地対策本部を開設し各区の公園で避難住民を受け入れます。 2.	各公園に現地対策部開設
8:00	各班長	1. 各班長さんは、防災無線放送塔より、避難指示の放送終了後、班内を一巡してから各公園に避難してください、各家庭に声掛けの必要はありません。 2. 各公園に、避難終了後班内の状況、避難者の確認人員の報告を現地対策部長（区長）に報告してください。	各班長の皆さん

8:15	現地対策本部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現地対策本部長は、伝達係に支持、人数の確認、被害状況確認状況等、災害対策本部に報告 2. ○○○区は、避難住民○○名、被害状況異常なし。 3. ○○区は、災害対策本部の指示で第二避難します。 	避難状況の確認
8:20	災害対策本部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害対策本部は、1区現地対策部～4区現地対策部の被害状況、避難人数の確認をしました、避難誘導部の安全確認の元、中央公園に第二避難をして下さい。 	第二避難開始
8:25	避難誘導部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 避難誘導部は、第二避難終了後、災害対策本部に報告してください。 2. ○○区避難者は、○○名無事二次避難完了しました。 	避難完了報告
8:25	救出・救護部	<ol style="list-style-type: none"> 1. ただ今から、盛岡西消防署滝沢分署の皆さんの指導により、心配蘇生講習会をおこないます。 	心配蘇生講習会
8:50	滝沢村避難所 ふるさと交流館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国分自治会、災害時避難所として指定している避難所まで、徒歩で避難経路の確認と災害時、断水になった時のために、地下貯水槽の確認を皆さんでしたいと思います。 2. 経路1、ベルフ牧野林～盛北ターン 牧野林橋の経路 35分 経路2、ベルフ牧野林～国分橋～国分通り ふるさと交流館 25分 経路3、北銀滝沢支店～耳取橋～国分通り ふるさと交流館 25分 	滝沢村避難所まで徒歩による見学 ふるさと交流館まで
9:20	滝沢村水道課	<ol style="list-style-type: none"> 1. ふるさと交流館地下貯水槽の説明を、水道課の職員より説明を頂く。 2. 実際に、災害時給水の要領を体得して頂く。 3. 滝沢村災害時、使用する水のうに水を入れて背負う（ふるさと交流館まで参加頂いた皆さんには給水袋を、さしあげます） 4. 滝沢村消防団第五分団の団員に依る放水訓練 	村水道整備課 説明訓練 放水訓練
9:50	災害対策本部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 役場関係者の方より挨拶を頂く 2. 国分自主防災会長挨拶 3. 自主防災会長代行閉会 	終了後バスに乗り解散